

What is claimed is:

1. 光ディスクであって、

動画データと、

動画データ内の少なくとも 2 つの再生区間を特定する少なくとも 2 つの再生区間情報と、

動画データにおいて先行する側の再生区間の終端近傍部と、後続する側の再生区間の先端近傍部とを複製することにより得られた複製部分と、

フラグとが記録されており、

前記複製部分は加工が施されるべき部分であり、

前記フラグは、

オンに設定されることにより、先行再生区間における終端近傍部以前の部分と、後続再生区間の先端近傍部以降の部分とを、前記複製部分を経由して再生する旨を示し、

オフに設定された場合、複製部分を経由せずに先行再生区間及び後続再生区間を順次再生する旨を示す。

2. クレーム 1 において前記光ディスクには、一時的区間情報が記録されており、

前記一時的区間情報は、

複製部分において再生区間が何処から何処までであるかを示し、

前記再生区間情報は、一時的区間情報へのリンク情報が付加されて記録されている。

3. クレーム 1 において前記動画データは、圧縮符号化されたピクチャデータ列であり、

前記加工とは、先行再生区間に含まれる最後のピクチャデータと、後続再生区間に含まれる先頭のピクチャデータとをシームレスに再生させるための加工である。

4. クレーム 1 において前記動画データは、圧縮符号化されたピクチャデータ列であり、

前記加工とは、先行再生区間に含まれるピクチャデータと、後続再生区間に含まれるピクチャデータとの間で所定の視覚効果を実現するための加工である。

5. クレーム1において前記動画データは、ピクチャデータ列であり、

前記再生区間情報は、

ピクチャデータ1つ当たりの表示期間の時間精度により、再生区間の始点及び終点を指定するポインタ情報を含む。

6. クレーム5において前記光ディスクには、

終端近傍部の直前に位置するピクチャデータ、及び、先端近傍部の直後に位置するピクチャデータを指定するポインタ情報が記録されている。

7. クレーム5において前記各ピクチャデータは、前後のピクチャデータとの相関性に基づき、圧縮符号化されており、

前記複製部分は、

圧縮符号化単位となるピクチャデータのグループを少なくとも1つ含む。

8. 動画データが記録された光ディスクについての記録装置であって、

動画データの内部から少なくとも2つの再生区間を特定する操作を、操作者から受け付ける受付手段と、

動画データにおいて先行する側の再生区間の終端近傍部と、後続する側の再生区間の先端近傍部とを複製し、複製部分を光ディスクに書き込む複製手段と、

フラグを光ディスクに書き込む書込手段とを備え、

前記複製部分は、加工が施されるべき部分であり、

前記フラグは、

オンに設定されることにより、先行再生区間における終端近傍部

オフに設定された場合、複製部分を經由せずに先行再生区間及び後続再生区間を順次再生する旨を示す。

終端近傍部と、先端近傍部との和が所定のサイズを下回るか否かを判定する判定手段を備え、

終端近傍部と、先端近傍部との和が所定のサイズを下回ると判定した場合のみである。

前記加工とは、先行再生区間に含まれるピクチャデータと、後続再生区間に含まれるピクチャデータとをシームレスに再生させるための加工であり、

11. クレーム8において前記動画データは、圧縮符号化されたピクチャデータ列であり、

前記加工とは、先行再生区間に含まれるピクチャデータと、後続再生区間に含まれるピクチャデータとの間で視覚効果を実現するための加工であり、

前記複製手段は、先行再生区間に含まれる複数ピクチャデータ、及び、後続再生区間に含まれる複数ピクチャデータのうち、加工が必要な全てのものを複製して、光ディスクに書き込む。

12. クレーム8において前記複製手段は、光ディスク上における連続長が所定長以上になるように、複数の複製部分を連結した上で

フラグを参照する参照手段と、

14. クレーム13において前記光ディスクには、複製部分をどのように加工すべきかを示す視覚効果情報が記録されており、

格納手段と、

前記再生手段により再生される複製部分は、

15. 光ディスクであって、

少なくとも1つの動画データと、
動画データの一部分を複製することにより得られた複製部分と、

前記複製部分は、加工が施されるべき部分であり、

前記フラグは、オンに設定されることにより、前記複製部分を経由して、動画データにおける一部分以前の部分、及び、一部分以降の部分再生する。

る旨を示し、

オフに設定されることにより、前記複製部分を経由することなく動画データを再生する旨を示す。

16. クレーム15において前記動画データは、圧縮符号化されたピクチャデータ列であり、

前記加工とは、所定の視覚効果を実現するための加工である。

17. 動画データが記録された光ディスクについての手順をコンピュータに行わせるプログラムであって、

動画データ内から少なくとも2つの再生区間を特定する操作を、操作者から受け付ける受付ステップと、

動画データにおいて先行する側の再生区間の終端近傍部と、後続する側の再生区間の先端近傍部とを複製し、複製部分を光ディスクに書き込む複製ステップと、

フラグを光ディスクに書き込む書込ステップとを備え、

前記複製部分は、加工が施されるべき部分であり、

前記フラグは、

オンに設定されることにより、先行再生区間における終端近傍部以前の部分と、後続再生区間の先端近傍部以降の部分とを、前記複製部分を経由して再生する旨を示し、

オフに設定された場合、複製部分を経由せずに先行再生区間及び後続再生区間を順次再生する旨を示す。

18. クレーム17のプログラムが記録されているコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

19. 動画データと、動画データ内の少なくとも2つの再生区間を特定する少なくとも2つの再生区間情報と、少なくとも2つの再生区間のうち先行する側の再生区間の終端近傍部と、後続する側の再生区間の先端近傍部とを複製することにより得られた複製部分と、フラグとが記録された光ディスクについての再生手順をコンピュ

前記フラグがオンを示しているなら、先行再生区間における終端近傍部以前の部分と、後続再生区間の先端近傍部以降の部分とを、前記複製部分を経由して再生し、フラグがオフを示しているなら、前記複製部分を経由せずに先行再生区間及び後続再生区間を順次再生する再生ステップとを有するプログラム。

20. クレーム19のプログラムが記録されているコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

21. 動画データが記録された光ディスクについての記録方法であ
って、

動画データ内から少なくとも2つの再生区間を特定する操作を、
操作者から受け付ける受付ステップと、

動作から受け付ける受付ステップと、
 動画データにおいて先行する側の再生区間の終端近傍部と、後続する側の再生区間の先端近傍部とを複製し、複製部分を光ディスクに書き込む複製ステップと、

フラグを光ディスクに書き込む書込ステップとを備え、

前記複製部分は、加工が施されるべき部分であり、

前記フラグは、

前記フラグは、オンに設定されることにより、先行再生区間における終端近傍部以前の部分と、後続再生区間の先端近傍部以降の部分とを、前記複製部分を経由して再生する旨を示し、

複製部分を經由して再生する旨を示し、
オフに設定された場合、複製部分を經由せずに先行再生区間及び
後続再生区間を順次再生する旨を示す。

22. 動画データと、動画データ内の少なくとも2つの再生区間を特定する少なくとも2つの再生区間情報と、少なくとも2つの再生区間のうち先行する側の再生区間の終端近傍部と、後続する側の再生区間の先端近傍部とを複製することにより得られた複製部分と、フラグとが記録された光ディスクについての再生方法であって、

44